

2018 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三笠 概要報告

大会テーマ 「ふるさと回帰」

～地域の未来を創る子どもを育むコミュニティ・スクール～

10月12日（金）に三笠市で行われたCS全国大会に参加してきました。WEB申込をした段階で分科会定員オーバーという状況になり、午後からの全体会、基調講演、パネルディスカッションのみ参加してきました。

以下に概要を報告致します。

1 基調講演

演題 「子どもたちが創る地域未来～質の高い学びとコミュニティ」

講師 東京大学大学院教育学研究科教授 秋田 喜代美 氏

(1) 求められる学びと地域と園・学校パートナーシップ

～海外から見た日本の教育～

全人的な教育の意義と日本の技能システムに寄与する教育の成果

21世紀に必要なコンピテンシー（資質・能力）とは？

必要な資質・能力を育むためには、どのような学習モデルが効果的か？

育成された能力は、どのように評価できるのか？

↓

社会に開かれた教育課程

子ども達が発達に応じた形で

・地域社会と出会う ・地域社会を知る ・地域社会に生きる

その学びの道筋を学校-地域の人々の連携で分かち合うことが重要。

（参画する大人もまた学び合う）

(2) 地域における探究学習 園・小中・高等学校各々の事例から考える

～園と地域を繋ぐ乳幼児の探究と世代間交流の事例～

・子どもの問いから始まった地域経験（地域の人や場と出会う，知る）

・園庭や地域がもたらす世代間交流

地域の人が遊びを伝えてくれる。季節の行事の場として集う場となる。

挑戦的な育ちの姿が見られる。

～地域の色から始まる 探究学習 小中学校の事例～

・「色」をテーマとして地域の天然資源活用

⇒美術の視点から自然，歴史，環境，風土を体感する美術体験プログラム

地域の色…県下一万色をつくる視点

自分の色…一人一色 自分の色を作る視点

石・植物など自然から色を作る。また，墨の濃淡によって色を作る。

(3) まとめとして

- ・園，学校，地域のパートナーシップに，子ども，教師，保護者，地域がどのように「共同主体性 Co-agency」をもって参画できるかという探究の質が問われる。
- ・ビジョン・価値の共有と持続可能なパートナーシップが重要。

2 パネルディスカッション

地域の未来を創る子どもを育むコミュニティ・スクール

～コミュニティ・スクールの推進課題と今後のありか方について，皆さんと一緒に考えましょう！～

- ◇コーディネーター：文部科学省初等中等教育局視学委員 貝ノ瀬 滋 氏
- ◆パネリスト：占冠村立占冠中央小学校長 森野 憲仁 氏
三笠市山崎ワイナリー 山崎 太地 氏
山口県教育委員会 地域連携教育アドバイザー 長尾 彰 氏
ゆめ☆まなびネット 学校支援コーディネーター 大谷裕美子 氏

それぞれの地域・立場から多様な多角的な意見が活発に出されました。

- ・キーワード：できるところから ⇒ 大抵のことはできる！（やり方・方法の工夫）
- ・CSは「人と人がかかわる事業」 ⇒ 学校づくり・地域づくり
学校と地域の顔が見えることが重要
- ・管理職のリーダーシップが必要…数年後の展望を！マネジメント力を発揮する！
「せめる校長」or「まもる校長」
- ・「協働の楽しみ」を知る！ ⇒ 成功体験を積み重ねる
地域が子どもを育てるという気概…Point やる気はお金と褒めること！
 - ・地域の人が子どもを褒めるようになった。
 - ・ 〃 よく見るようになった。
 - ・子どものために…実は，自分のため
- ・「学校支援」と「地域貢献」…活動の両輪 キーワード：多様な人との接点
- ・地域活動の横のつながり ⇒ まちづくりとなる！
- ・世代や職業をこえたつながり（ネットワーク）が大切
- ・立っている位置や場所は違っていても，向いている方向は同じになること！

個人的には，山崎ワイナリーの若き山崎太地氏の「防風林は植えた人は恩恵にあずかれない。しかし，未来のために植える…」という趣旨の話が印象的でした。教育も似たようなところがあるかもしれません。もちろん，一年一年の積み上げも大切なことですが…。 （有村）



2018 全国コミュニティ・スクール研究大会 in 三笠

出席者 夕張市教育委員会 社会教育主事 立花 克一

報告書（第4分科会）

会場：三笠市公民館3号室

テーマ：「高校・特別支援学校におけるコミュニティ・スクール」

①「高校であるからこそ」の導入のねらいと今後の具体的方向性について

発表者 北海道寿都高校 澤田 慎也校長

コミュニティ・スクールをスタートするにあたって、考え方や捉え方をどう整理しその仕組みをどう活用するのか、今後の具体的な方向性も含めて貴重な発表を伺うことができた。「何のために」を常に念頭に置くことが大切とのお話が印象的だった。

②「防災型コミュニティ・スクールの推進について

発表者 熊本県教育庁指導主事 森本博徳氏

防災及び災害時の対応等に視点を置いた地域連携を推進するための取組について紹介があった。児童生徒等の防災意識の高揚と防災マニュアルの見直し、避難訓練の重要性について再確認させていただいた。

③「特別支援学校における学校運営協議会の取組」

発表者 京都市立西総合支援学校 富家直樹校長
学校運営協議会副会長 富田千果子

学校と地域の双方向の援助による、新たな地域の創造について発表がなされた。困ったときに助け合えるような地域づくりと居住地校交流の大切さについて、具体的な事例を使って報告がなされた。